

第21回 学生フォーラム

令和3年12月8日(土) 13:00~17:30

※学生フォーラムでは、岡崎市内7大学の学生が、地域と結びついた様々な活動（ゼミ、サークル等）の成果について、発表・展示を行いました。そこで
の発表内容を報告いたします。

【学生フォーラム】

Japan Kids Fashion Week 2021 への挑戦

愛知学泉短期大学 安田裕菜、佐野遥菜、赤川小梅、釜坂玲奈

要 旨

2021年10月に開催された「Japan Kids Fashion Week 2021」において、キッズ作品の制作発表の機会を得ることができた。私たちにとって、世界的規模で日本初開催されたファッションショーで自らデザインし、制作した作品を発表することは大きな挑戦であった。子どもたちに夢や希望を与えるファッションスタイルの提案を行うために長谷川ゼミ、杉浦ゼミ27名で5ヶ月をかけて取り組んだ。テーマを「LGBTQ」に設定し、環境にやさしい、誰にもやさしい、みんなの手を取り合って創り上げる私たちの目指す未来に向かって活動を展開した。子どもたちの未来が大きな夢と大きな可能性があることを表現するためにチャレンジした活動内容について報告する。

1. 「Japan Kids Fashion Week 2021」について

生活デザイン総合学科でファッションを主体的に学修している長谷川、杉浦ゼミでは、ファッションに関する取り組みを通して自己研鑽し、能力の開発にチャレンジしている。そこで、2021年10月に開催される「Japan kids Fashion Week 2021」において、キッズファッションショー制作発表の機会を得ることができた。本企画は一般社団法人日本キッズ協会主催で、全国からキッズモデルが参加するために、日本の中心位置である名古屋で開催されることになった。この様な大舞台で自らデザインし制作した作品を発表することは、私たちのとっても大きな挑戦であった。世界的規模で日本初開催されるファッションショーにおいて、私たちはこの挑戦を通して、子どもたちに夢や希望を与えるファッションスタイルの提案を行い、本学で学んでいる社会人基礎力の発揮につながると考えた。

2. 活動内容について

ファッションショー作品の制作を通して、現在直面している課題を解決し、新たなデザインを提案し創り上げることで無限の可能性への挑戦に向かってプロジェクトを推進していきたいと考えた。本プロジェクトでは、未来へ向かって羽ばたく子どもたちへファッションを通して夢や希望を与えるために、以下の内容で実践した。

1. 子どもの可能性を広げるファッションスタイルのデザイン考案
2. 制作計画立案と制作（パターンメイキング、縫製、試着補正、仕上げ）
3. ファッションショースタイリング、発表構成の立案
4. Japan Kids Fashion Week 2021 ファッションショー発表

（1）子どもの可能性を広げるファッションスタイルのデザイン考案

本学独自のテーマを「LGBTQ」に決定し、多様な形でデザイン表現した。LGBTQを表現するレインボーカラーのフリルをあしらひ、子供たちが未来に向かって羽ばたくイメージや、女の子らしい、男の子らしいという既成概念をなくし、デザインをミックスした。

（2）制作計画立案と制作（パターンメイキング、縫製、試着補正、仕上げ）

コロナ禍の第5波で感染不安もある中、制作を進めなければならず、対策として教室に入る前は必ず検温・消毒をし、徹底的に感染対策を実施した。また、密を避けるため事前に予定表を制作し、計画力を発揮して行うことが出来た。制作過程で最も問題となったのが、サイズ合わせであった。こどもの体の大きさが分からなかった為、課題発見力を発揮して制作方法を工夫した。制作過程で問題となった点については、これまで学んできた科目、「アパレルパター

ンメイキング」「CAD」「ファッション造形」「ファッションアクセサリーズ」などの専門知識を活用して取り組んだ。一段一段フリルを丁寧に縫い付け、カラフルな花を大量に制作し、一つひとつ手縫いで付けるなど、どの作業も細かくて根気のいることばかりであった。ショーで映えるにはどうしたらよいか、何度もチェックし、その度に縫い直しをした。(写真1)

(3) ファッションショースタyling、発表構成の立案

リハーサル当日は初めてキッズモデルに衣装をフィッティングし、イメージを掴んだ。その後、子どもたちのウォーキングのため、衣装を整えつつリハーサルのお手伝いを行った。サイズの微調整などの衣装の最終調整をするため、一旦大学へ持ち帰り、本番までに修正を行った。

(4) Japan Kids Fashion Week 2021 ファッションショー発表

当日は、前日に直した部分の見直し、ファッションショーの流れや衣装を何度も確認し、本番に臨むことができた。その結果、直前に様々なアクシデントが発生したが、冷静に対処することができた。ファッションショーでは、キッズモデルたちが非常に喜んで衣装を着用して生き生きとランウェイを歩き、子どもたちと一緒に感動を味わうことができた。(写真2)

3. まとめ

このショーを通して27名全員が作品を協力して制作し、チームで働く力、考え抜く力を発揮することができた。今回の活動前後で「社会人基礎力」について自己評価した結果、ほとんどの社会人基礎力で成長を感じることが出来た。このファッションショーでは、作品を真心込めて最後まで作りあげること、毎日遅くまで残って制作にこつこつ取り組み努力すること、チームや子どもたちのために一生懸命に尽くす奉仕の心、ショーに出るにあたってサポートしてくれた先生や周りの方々への感謝等、本学の四大精神を実践することができ、私たち27名の未知への挑戦であるファッションショーを、子どもたちと一緒に成功させることができた。デザインから制作、子どもたちと関わりの中で本当に多くの事を学び、身に付けることができた。また、テーマを生かし、自分達の考え方の幅も広げられた。これからも一人一人の個性を輝かせ、明るい未来を築けるよう、努力していきたい。



写真1



写真2

謝辞

私たちは、入学時から卒業までコロナ禍で学外活動がままならず、思うように進めることができませんでした。その中で日本初開催であるパリコレ キッズファッションショーに参加することができ、大きく成長することができました。また、その活動をこのように発表する機会を頂き、自分たちの活動を振り返って、今後活かすことができました。市内他大学の学生活動を知ることもでき、大変良い学修機会となりました。深く御礼申し上げます。